

アメリカの総合研究大学図書館 のめざすもの

ーPossibility から Action へ

スピーカー: Kayo Denda さん

(Head, Margery Somers Foster Center & Women's Studies Librarian, Rutgers University Libraries)

日時 2017年11月8日(水)13:00～13:45

会場 スピーカーズ・コーナー(B会場)

*スピーチは日本語で行われます。



Kayo Denda (カヨ・デンダ) さんは、Rutgers University LibrariesのWomen's Studies Librarianとして活躍されています。

今回は、ラトガース大学図書館での研究支援について、コレクション構築、アーカイブス公開など、お話しいただきます。

アメリカの大学図書館での取り組みを日本語で直接伺える貴重な機会です。

みなさまのご参加をお待ちしています。

主催：図書館員のキャリア研究フォーラム・国立女性教育会館

共催：公益財団法人日本女性学習財団

本事業は（一財）竹村和子フェミニズム基金の助成を受けています。

■Kayo Dendaさんについて

Dendaさんは、Rutgers University Librariesで女性学の研究支援を行うライブラリアンとしてのキャリアを蓄積し、IFLAのSocial Science Libraries Sectionの座長として、ワークショップをコーディネートするなど、国際的なライブラリアンのネットワーク構築にも貢献されてきました。2018年には、“*The Douglass Century: Transformation of the Women’s College at Rutgers University*” の出版を予定しています。

なお、北米の総合研究大学であるRutgers UniversityのDepartment of Women’s and Gender Studiesには、米国の女性運動のリーダーでもあるProfessor Charlotte Bunchはじめ多くの女性学研究者が在籍していることで知られています。

参考：<http://womens-studies.rutgers.edu>

図書館員のキャリア研究フォーラム2017年度講演会

ライブラリアンと専門性

ーラトガース大学の女性学研究支援

日時：2017年11月11日(土)14:00～16:00 (受付開始13:30)

会場：東京大学工学部 工2号館図書室

(文京区本郷7-3-1 東京大学工学部2号館5階)

講師：Kayo Denda (Head, Margery Somers Foster Center & Women’s Studies Librarian, Rutgers University Libraries)

コメンター：村松泰子(日本女性学習財団理事長・前東京学芸大学学長)

定員：50名(先着順) 参加費：1,000円(学生500円)

申込方法：氏名、所属、メールアドレスを明記し、フォーラム事務局(jawe@nifty.com)までお送りください。

主催：図書館員のキャリア研究フォーラム

共催：公益財団法人日本女性学習財団

協力：東京大学大学院工学系研究科男女共同参画委員会

◆本事業は、(一財)竹村和子フェミニズム基金の助成を受けています。

図書館員のキャリア研究フォーラムとは

図書館および情報事業に関わる女性のキャリアの現状と課題について、情報交換等を通じて問題意識を広く共有し、館種・職種の違いを超え、図書館をめぐる多様な職業のネットワーク構築をめざしています。

共同代表：青木玲子(国立女性教育会館)、石川敬史(十文字学園女子大学)、市村櫻子(東京大学)、黒澤あずさ(日本女性学習財団)、櫻田今日子(国立女性教育会館)